

＜CT 検査における医療被ばくについて＞

社会医療法人 製鉄記念八幡病院

【CT 検査】

X 線を用いて体の横断像（輪切り）を撮影する検査です。この検査により体の内部をより詳しく観察する事ができます。検査時間は、入室から退室まで 10 分から 15 分程度です。実際に X 線を使用しているのは、数十秒です。

放射線被ばくを伴う検査であるため、CT 画像情報を得ることによる利益の方が、被ばくによるリスクより大きいと医師が判断し、患者様ご自身が納得した場合にのみ検査を行います。

【被ばくによるリスク】

当院で行っている CT 検査は、通常 2～50 ミリシーベルト程度の被ばく量です。部位や撮影範囲、体格により差があります。

放射線は一度に大量の被ばくをすると、発がんや体に様々な悪影響を与えます。しかし、低線量の被ばくにおいては、人体へのリスクはごく小さいと考えられていて、特に 100 ミリシーベルト以下においては、放射線による悪影響は確認されていません。

これらより、医師に勧められる CT 検査については、現在の健康を守るために必要な検査であると考えられます。

当院では、関連学会のガイドライン等を参考に撮影条件を決定し検査を実施しています。また、「医療被ばく低減施設」の認定を受けており、被ばく低減に積極的に取り組んでいます。